

授業科目名・形態	病態治療学Ⅱ（外科） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	吉原 秀一	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

### 【授業の主題】

消化器および甲状腺、乳腺の疾患についてその診断と治療を概説する。

### 【到達目標】

1. 消化器病の病態・診断・治療を説明できる
2. 乳腺・甲状腺疾患の病態・診断・治療を説明できる
3. 手術法を理解し手術後の消化管の状態が説明できる
4. 病態の頻度・重症度を理解した上で疾患の重要性を考える

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 食道
- 第 2 回 胃
- 第 3 回 肝、胆道、膵臓
- 第 4 回 大腸
- 第 5 回 乳腺
- 第 6 回 甲状腺
- 第 7 回 腹壁、ヘルニア
- 第 8 回 補講

### 【授業実施方法】

講義形式で画像、ビデオなどを使用

### 【授業準備】

関連分野の解剖生理を復習しておく  
臓器の役割を理解しておく

### 【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

### 【教科書等】

指定しない

### 【参考文献】

適宜、紹介する。

### 【成績評価方法】

定期試験による評価（定期試験 100%）

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

外科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

### 【学生へのメッセージ】

疾患の要点を的確に把握することに留意する。  
特に病態を理解し応用できるようにしておくこと。